

<参考資料>

福島第一原子力発電所における作業員の 感電災害および地絡警報の発生について

平成26年9月30日
東京電力株式会社



東京電力

1. 発生状況

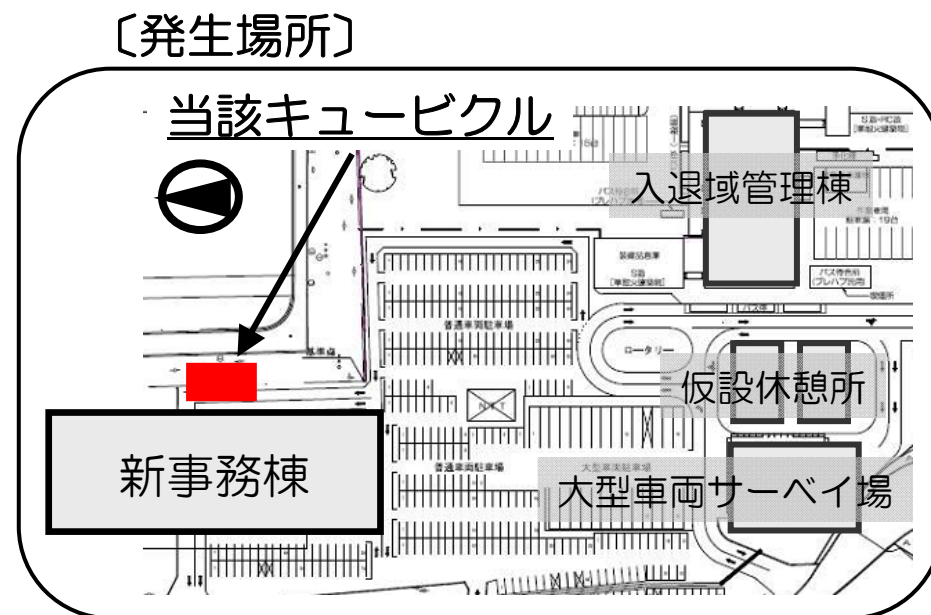
<概要>

新事務棟電源（6.9kV）の本設電源ケーブルを受電キュービクル内で端末処理作業中、充電部に誤って接触し感電した。（共同作業員：1名）

- 被災者：40歳代男性
- 発生時間：平成26年9月30日（火）8時26分頃
- 発生場所：新事務棟（東側）の受電キュービクル内
- 装備：作業服、ヘルメット、一般靴、一般作業手袋、サージカルマスク

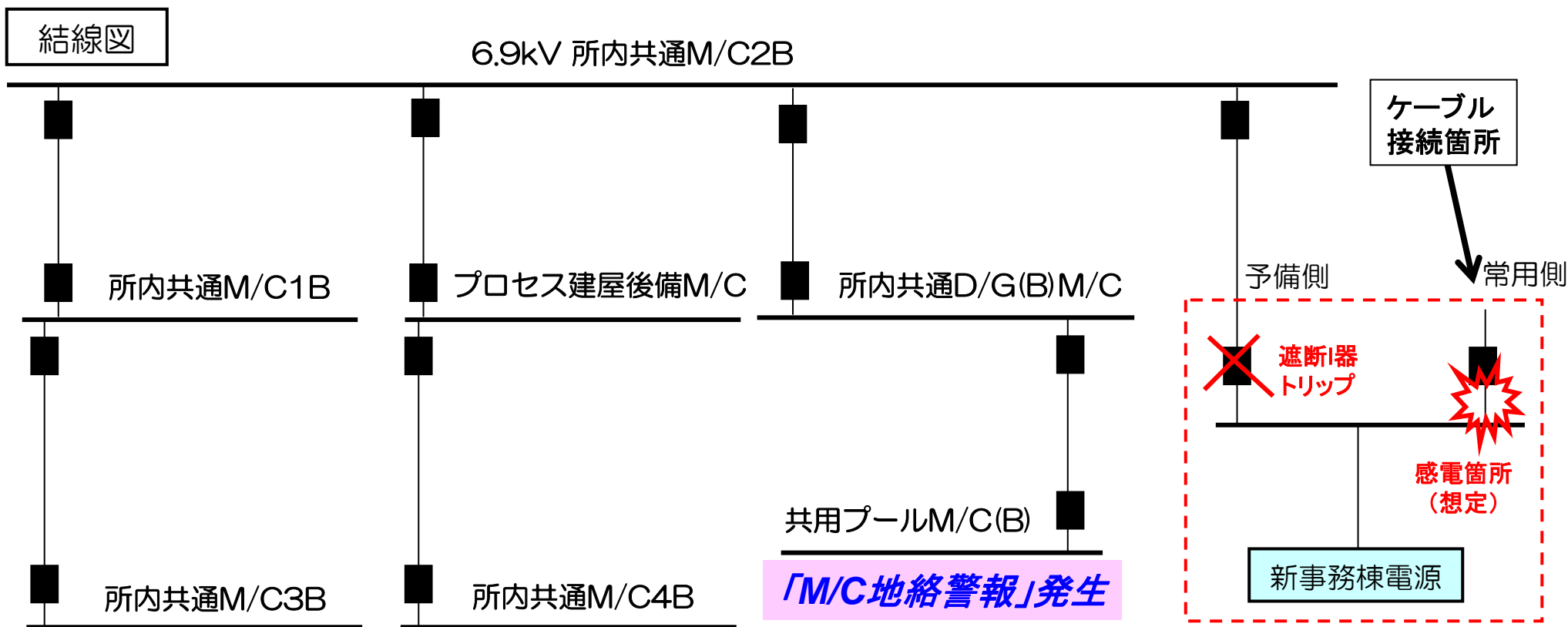
■時系列〔9月30日〕

- 7時00分：全体朝礼、TBM-KY実施後現場へ移動
- 7時55分：作業着手
- 8時26分：災害発生（感電）
警報「共用プールM/C（B）地絡」発生
警報「低圧電源系異常B」発生
- 8時32分：救急車要請
- 8時40分：救急医療室 救急車現場到着
- 8時47分：救急医療室 到着
- 8時59分：警報「共用プールM/C（B）地絡」復旧
警報「低圧電源系異常B」復旧
- 9時06分：心電図異常なし
- 9時18分：救急医療室より磐城共立病院へ出発
- 10時22分：磐城共立病院に到着
- 15時18分：新事務棟電源復旧完了

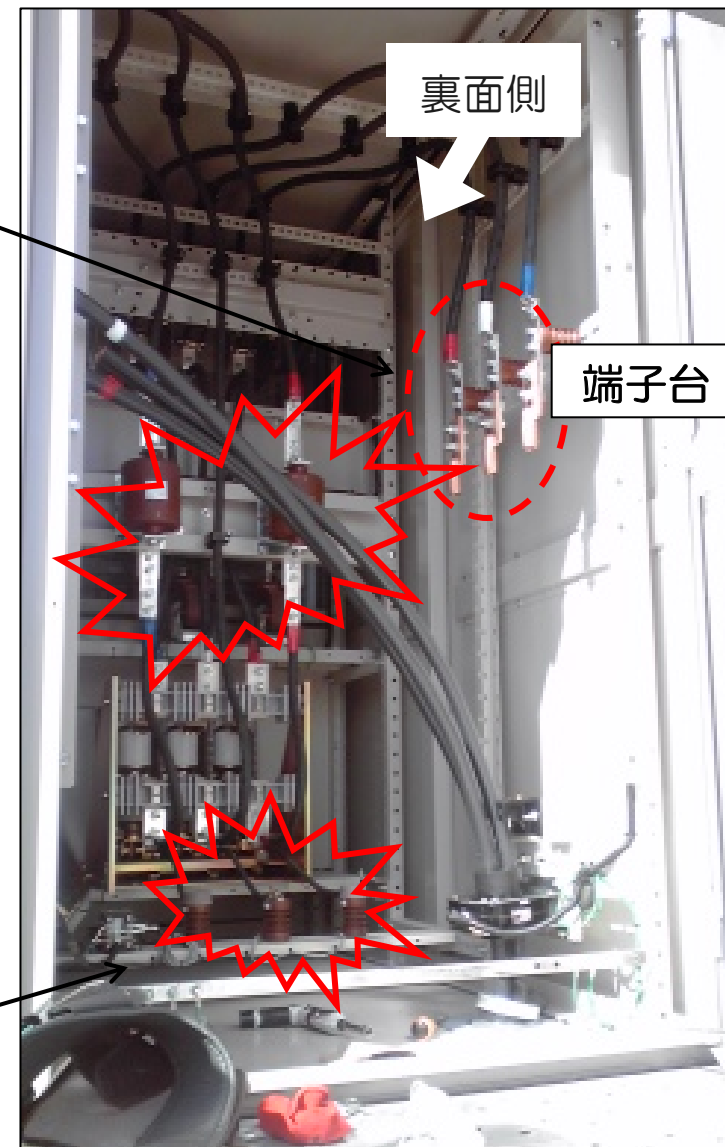
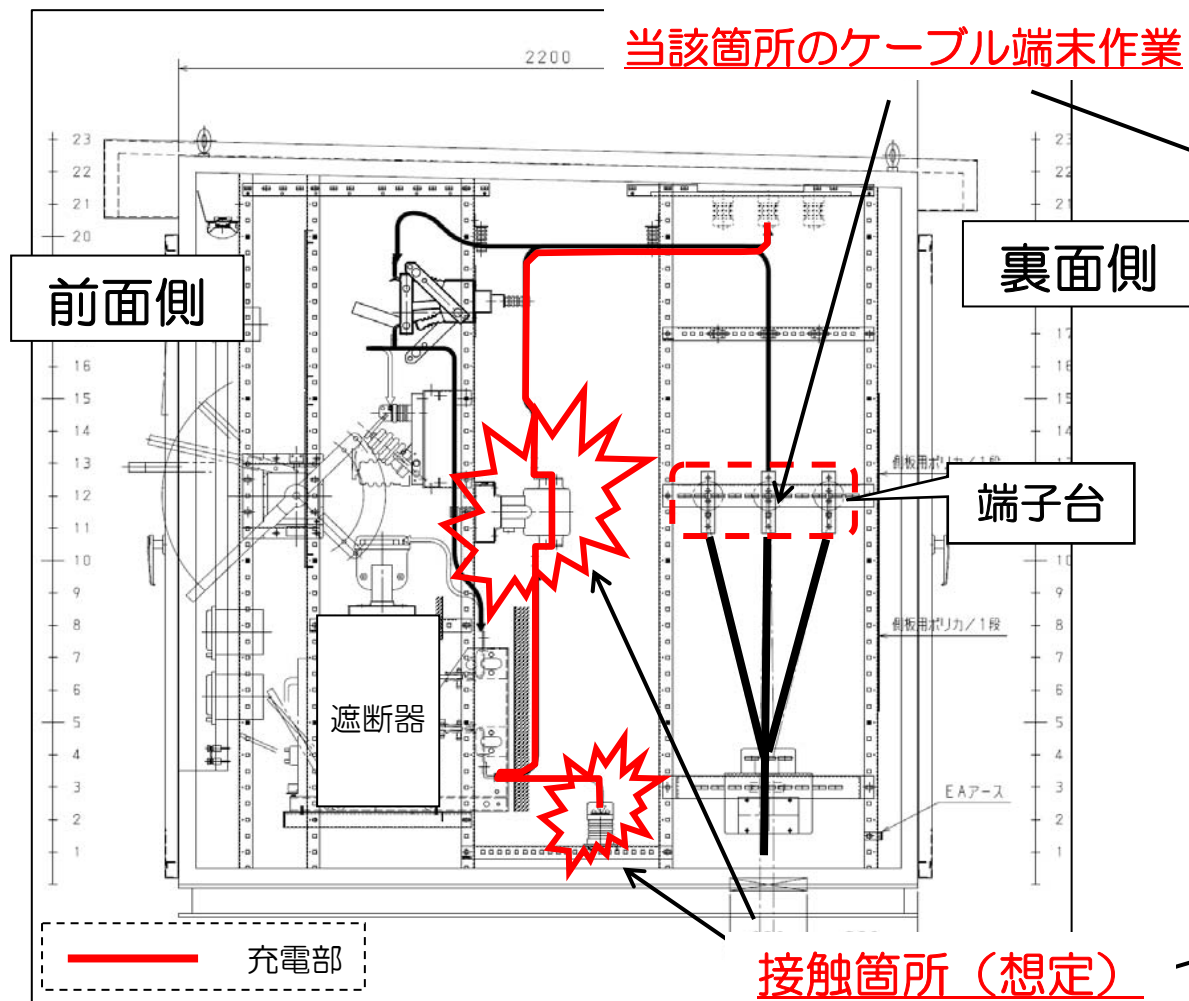


2. 地絡警報発生 の 推定原因

- 新事務棟高圧受電盤内で受電ケーブル（常用側）のケーブル端末作業中に、予備側より充電されている箇所へ接触したため、地絡が発生したと想定。
- 当該地絡の発生により、新事務棟高圧受電盤の受電遮断器がトリップし、新事務棟が停電にいたった。地絡検出警報が瞬時に発生するように設定されている「共用プールM/C（B）」のみに警報が発生した。



3. 新事務棟 高圧受電盤構造図（内部写真）



高圧受電盤（断面図）